

ちわいせき

2017

正月号

VOL.148

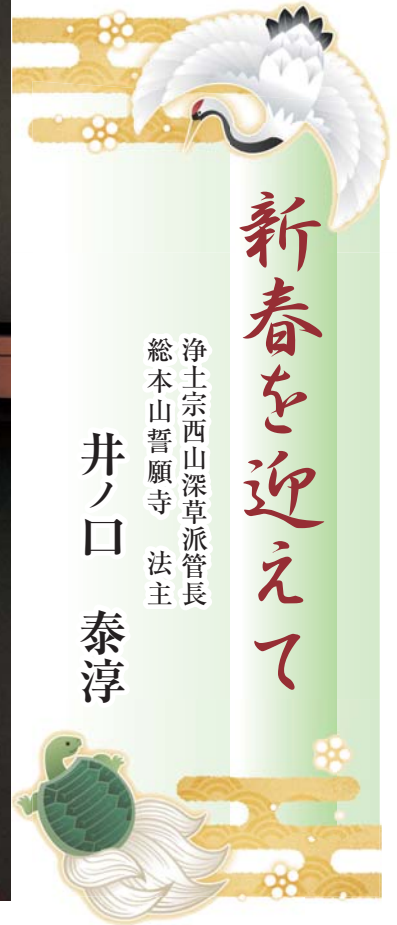
浄土宗西山深草派宗務所
総本山 誓願寺
謹賀新年



◆ 秋期京都非公開文化財特別公開 誓願寺縁起絵（重文）、誓願寺縁起絵摸本（明治）◆

◆ 目次 ◆

- 新春を迎えて
- 賢問子行状記⑱
- 迷子みちしるべ 六
- お釈迦さまの十大弟子 8
- インド **ドタバタ** 夫婦道中記 ④2
- 総本山誓願寺だより
- 何でも“お寺探偵団” Vol.46
洞泉山 宝樹院 明栄寺



謹賀新年

新年 明けましておめで
とうございます。

皆さま方にはそれぞれ、
御機嫌宜しく新年をお迎え
のことと衷心お慶び申し上
げます。

私も何分老齢の身ではご
ざいますが、日々の法務に
就かせて頂いております事、
感謝申し上げます。

さて、天智天皇さまに
よって開かれた本山誓願寺
は、創建千三百五十年の節
目をお迎えしました。

「誓願寺縁起」によると、
天智天皇さまは平素より
人々の幸せを祈り、生身の
仏さまを拝みたいと願って
おられました。霊夢により、
奈良の仏師・賢問子、芥子
国の親子が造られたのが丈
六の御本尊阿弥陀如来像で、
そのお姿は、西方極楽浄土
の阿弥陀如来に等しい姿と
して広く人々の信仰を集め
ました。

以来、平安時代には和泉
式部が念仏往生され、法然

上人、西山上人、立信上人
が住職を務められ、戦国時
代には豊臣秀吉の側室・松
の丸殿さまが深く帰依され、
寺町三条の現在地移転の際、
松の丸殿さまは再興大施主
となられました。

賢問子、芥子国親子の造
られた阿弥陀さまは、残念
ながら江戸時代の火災によ
り焼失しましたが、歴代法
主猊下を中心に復興を遂げ
今日をお迎えしました。

西山上人が、「衆生の重ん
ずる宝、命に過ぎたるはな
し」と仰せになったように、
私たちにとって一番大切な
のは、まず自分の命を維持
することですが、私たち念
仏信者は、阿弥陀さまや天
智天皇さまのように、人々
の幸せや平和を祈ることが
大事です。
今年一年の益々のご多幸
とご健康をお祈り申し上げ
ます。

平成二十九年 元旦

総本山誓願寺 第百貳世

彰空 泰淳 謹識

賢問子行状記

18

総本山誓願寺執事 小島英裕

第十三話

「真阿上人 念仏弘通」

真阿上人は、後龜山天皇の皇子です。応永十七年（二四一〇）、三十六歳の時、生あるものは必ず滅びるといふ「諸行無常」を悟り、誓願寺で剃髪出家しました。境内のお堂に籠り、深く阿弥陀さまに帰依しました。ある時、阿弥陀さまが夢の中に現れ、「真阿弥陀仏」と名前を授けました。真阿上人はただただ「南無阿弥陀仏」と称える念仏者となりました。

「將軍さま、お願いがございます。慈悲の心で、罪人を許しては頂けないでしょうか。殺生はいけません。命を奪つてはいけません」と將軍に頼みました。しかし將軍は聞き入れません。その時に上人は一首の歌を詠みました。

慈悲の眼に
にくしと思ふ 者ぞなし
咎有身こそ 猶哀れなり

そして立ちあがり、その場を立ち去りました。將軍は上人を見ると何と円光が現れていました。將軍は不思議に思い、真阿上人の信者となり十念を受け、上人の願い通り罪人の死刑を取りやめ、許したそうです。この評判は世の中に広がり、沢山の人々が「慈悲の上人」と手を合わせました。

萩を垣 松を柱に 柴の庵
風は吹ども さみしからめや

真阿上人が詠んだ歌を聞き信仰を深めた將軍は、誓願寺墓地の傍らにお堂を建立し、寄進しました。將軍は常に真阿上人から十念を授けられていたの
で、「十念寺」と名付けられました。

また真阿上人は常に壬生寺のお地藏さまを信仰していました。ある夜、夢の中にお地藏さまが現れ、

「お前は長い間私を信仰している。私の姿をお前に与えよう。直に取りに来なさい」と告げました。真阿上人は急いで壬生寺に向かいました。また壬生寺の僧侶も夢を見ました。お地藏さまが真阿上人に自らの姿を与えると仰いました。すぐさまお地藏さまのお厨子を開けると、中に掛軸が有りました。開いてみるとお地藏さまのお姿が描かれています。僧侶はすぐさま掛軸を持ち、誓願寺に向かいました。道中、前から走ってくる僧侶が来ます。

「もしや、真阿上人でございますか。夢でお地藏さまと貴方のやり取りを見まして、走ってきました。これがお地藏さまのお姿です」

壬生寺の僧侶は真阿上人にお地藏さまの掛軸を渡し、その後十念寺の霊宝となりました。（つづく）

京都 本山誓願寺

迷子みちしるべ

六

日々、ただ一心にご回向を

渡邊良純総務部長

平成16年11月本山部長就任 平成19年11月より現職
 総本山誓願寺執事 京都 福正院の第29世住職



誓願寺で二十一年ぶりとなる、非公開文化財の特別公開などについて、渡邊総務部長にお話を伺いました。

重要文化財である誓願寺縁起絵三幅が里帰り展示され、また昨年発見された摸本が初公開となりましたが？

―連日非常に多くの方に拝観頂け、大変嬉しく思っております。私も間近で観て、誓願寺縁起絵の素晴らしさを改めて実感し、数百年の時を経て目の前にあることを思うと感動しました。また、摸本は大変鮮やかなもので、描かれている人物の表情まで見て取ることができ、誓願寺縁起絵が描かれて間もない、当時の姿を伺い知ることができました。

さて、部長に就任されて十数年が経ちますが、日々の様な思いで法務に就かれていますでしょうか？

―総本山誓願寺は、末寺はもとより、檀信徒の皆さまのおかげによって今日まで支えられ、成り立っております。誓願寺でご供養させて頂いている、檀信徒の皆さまのご先祖さまの読経をお受けすることがありますが、その際、お参りして下さった方に「お参りして良かった、またお参りに来たい」と喜ぶ

んで頂きたい、ただその一心で、心を込めてご回向をさせて頂く、そのことを常に心がけて、日々の法務に就かせて頂いております。

檀信徒の皆さまにメッセージを一言…

―先に申しました通り、誓願寺へ足を運んで頂いた檀信徒の皆さまに喜んで頂ける様、思いを込めてご回向を勤めさせて頂いておりますので、是非、誓願寺にお参り頂きたいと思っております。

また、今回の文化財の特別公開に際し、誓願寺宝物修復のための御寄附を募集させて頂きました。今回公開された誓願寺縁起絵をはじめ、誓願寺にはたくさんのお宝がございますが、傷みの激しい物もあり、修復が不可欠です。これまで檀信徒の皆さまのお力添えによって受け継がれてきた寺宝を、次の世代またその先の世代に受け継いで行くことも、大切な使命と感じておりますので、是非皆さまのお力添えを賜ります様、お願いを申し上げます。

本山納骨のご案内

●永代納骨(20万円)

・本山納骨堂へ永久に安置致します。

●須弥壇納骨(10万円)

・本山納骨堂へ20年間安置致します。永代納骨への切替も出来ます。

●普通納骨(5万円)

・合同で京都深草の真宗院にある納骨堂にお納め致します。永代納骨や須弥壇納骨への変更は出来ません。

※詳細、また納骨をご希望の方は、菩提寺までお問い合わせ下さい。

お釈迦さまの
ご生涯
外伝

お釈迦さまの十大弟子 8

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

頭陀第一の摩訶迦葉 その4



2月15日、お釈迦さまが涅槃にお入りになりました。阿那律尊者と阿難尊者が中心となり、多くの弟子と信者が集まり、涅槃の地クシナガラで葬儀の準備をしておりました。金箔が張り巡らされた棺、「金棺」にお釈迦さまのご遺体を納め、油を注ぎ松明で火をつけようとした。

すると棺は燃えません。一向に火がつかないのです。不思議に思った阿難尊者が阿那律尊者に尋ねました。「どうしてお釈迦さまのお棺に火がつかないのでしょうか。阿那律尊者お分かりになりますか」
阿那律尊者は天眼第一と言われ、六神

通の一つである天眼通がどの弟子よりも優れておりました。天眼通とは世の中のあらゆる場所を見渡せる力です。阿那律尊者はその力で世の中を見渡しました。「そうか。摩訶迦葉尊者がこちらに向かっておられる。お釈迦さまはお待ちになっておられるのか」

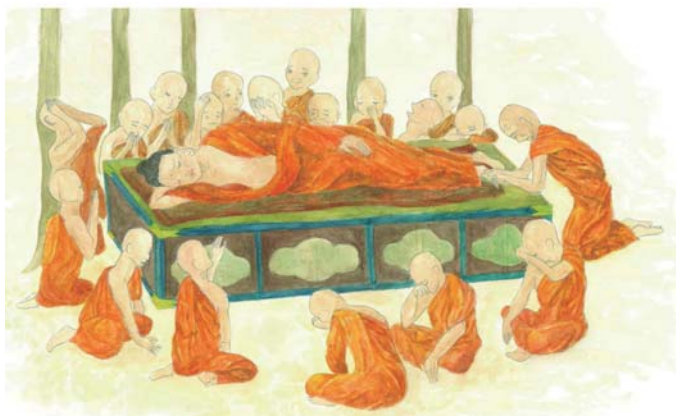
摩訶迦葉は、お釈迦さまがクシナガラで涅槃にお入りになられたことを知り、向かっておりました。師匠の臨終に間に合わなかったものの、「何とかお顔だけでも」と思い一生懸命クシナガラに向かいました。お釈迦さまは摩訶迦葉の到着を待つておられたのです。

摩訶迦葉はクシナガラに到着しました。「お師匠さま・・・」
涙を堪え、お棺の周囲を右回りに三回廻

り、お釈迦さまのみ足を戴き、礼拝をしました。そして、松明でお棺に火をつけるとたちまちに炎が上がり、お釈迦さまは荼毘に付されました。

その様子を見た多くの弟子は、「お釈迦さまは摩訶迦葉尊者をお待ちになっておられたということ。このお方を後継者とされたのだ。教団を纏めるのは摩訶迦葉尊者しかいない」と摩訶迦葉の下で、お釈迦さまの教えを皆で守って行くことを誓ったそうです。

(つづく)



お釈迦さまの涅槃



列車に乗るのも一苦労

温泉精舎のバザールまで降り、小島君と田中君は賑やかな通りを、観光客用の店が並ぶ側に渡ったので、彼らにわざと大声で呼びかけながら道路を横断したところ、警護のお礼としてお金を要求した悪徳ポリスたちは、見えない壁に遮られたかの様に道路を渡れず、獲物を逃したハイエナの如く、未練たらしく僕たちをただ眺めるだけだった。

から、申し合わせができない状態の中にあつて、一連の行動は最善の方法だったのだらう。

その後ゲストハウスに帰り、次の目的地バラナシに向かう準備をし、午後一時四〇分のバスでパトナーに向かった。途中でバスを乗り換え、パトナーのバス・スタンドに着いたのは夕方六時だった。すぐそばに駅があり、バラナシ行きの切符を買い、七時四五分発の列車は超満員で、同じ車両に先に小島君と田中君が乗り込んだのだが、僕たち夫婦は乗降口の所でもまれていると、ポリスが来て切符を見せるように言うので、逆らわずに見せると彼はすんなりと姿を消した。どういう訳か記憶にないが、全員の切符を僕が持っていた。

一分もしない内にポリスが戻って来て「向こうの車両に乗れるからついてこい。」と言うので、僕は二人に聞こえるように大声で他の車両に移ることを告げ、その車両を離

れた。そのポリスは空いている車両を探してくれた「良いお巡りさん」だったのだ。やつとのことで乗り込めたのだが、バグゲージの置き場に困るほどの混み具合だった。離ればなれになってしまい心配してはいたが、降りる駅さえ間違えなければ・・・と願っていると、二人が乗客をかき分けながら僕たちの列車に乗り込んできたのである。盗難に遭わないようバグゲージを網棚の鉄パイプにチェーロックでくくり付けたのを、今度は外し人をかき分け必死の思いで僕たちの乗る車両を、目指して向かったのだ。



列車の乗降口で爆睡

総本山誓願寺だより

節分会

平成二十九年二月三日 (金)

大般若転読会

無病息災・心願成就・芸道上達等、皆さまのお願い事を仏さまに祈願致します。

- 午前十時～十二時
- 午後二時～二時半
- 午後三時半～四時半



日本舞踊・長唄奉納

午後一時半

演目

- 一、鶴亀
- 二、京の月
- 三、京鹿子娘道成寺

出演 日本舞踊・長唄桜流

桜富寿佐
桜流門弟
誓願寺僧侶



豆まき

午後二時半

おまじな

扇塚法要

※古くなった扇の供養をいたします。

おもな行事予定

- 一月
 - 一日(日) 修正会
 - 十五日(日) 六阿弥陀功德日
 - 二十四(火) 法然上人追慕念仏行脚
- 二月
 - 三日(金) 節分会
 - 八日(水) 六阿弥陀功德日
 - 十五日(水) 涅槃会
- 三月
 - 十四日(火) 善導忌
 - 六阿弥陀功德日
 - 十七日(金)～二十三日(木) 春彼岸
 - 二十五日(土)～四月四日(火) 法脈相承

クイズコーナー

【問題】

特別公開された誓願寺所蔵の文化財は何でしょうか？漢字六文字でお答え下さい。

○○○○○○

官製はがきに、答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いてご応募下さい。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、はがきにてご連絡差し上げます。名前の掲載が困る方は、その時にご返事下さい。今回は、宝樹院さまより朱印帳を5名さま、本山謹製線香を5名さま、合計10名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒444-1031 四

愛知県西尾市下矢田町郷二

養寿寺内 ちかい編集係

答え ○○○○
郵便番号
住所
氏名
電話番号
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

【締切】一月三十一日
(消印有効)

ちかい 第148号

発行日 平成二十八年十二月五日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話 (075) 221-0958
FAX (075) 221-2019
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp

何でも

お寺探偵団



宝樹院
ほうじゆいん

Vol.46



profile

ばん ぎ しん
伴 義心師 (宝樹院 第33世) 昭和43年4月21日生まれ 48歳
平成27年に晋山。愛知県立西尾東高校卒。大正大学仏教学部卒。趣味は音楽鑑賞。

ひがしは ず
今回は愛知県西尾市東幡豆
ちよう とう せん ざん ほう じゆいん みよう
町にある「洞泉山 宝樹院 明
えい じ
栄寺」を訪ねました。

Q1 お寺の歴史を
教えてください。

てんびよう
当院は天平年間(729~749)、奈
だいぶつごんりゆう かつやく ぎようき ぼ
良の大仏建立の時に活躍した行基菩
ざつ しょこくじゆんきよう ぼころ
薩が諸国巡教の折、この山の洞で一
えい じ かんとく ぶつ ほう
夜を明かし霊夢を感じ、「正に仏法
う えん
有縁の地なり」と思い草庵を結びまし
た。

かんえい
その後寛永年間(1624~1644)、
ほいおうしょうにん
開山梅翁上人が、行基菩薩が草庵を
じゆんていかんぜ おん ぼさつ
結び、准胝観世音菩薩を自ら彫って祈
ごんりゆう
願した話を聞き、この地に寺院を建立
ほつがん
することを発願されました。そして当院
が創立され、領主から許可を得まして、
洞泉山宝樹院明栄寺となりました。

Q2 お寺の宝物は
何ですか？

けんほんさいしき たて
絹本彩色阿弥陀如来画像一幅(豎
一尺九寸、横九寸、琢磨法眼筆)、阿
たくま ほうげん
弥陀如来像一体(座像木仏、高さ四
えんしんぞうず
寸四分、恵心僧都作)、准胝観世音菩
ざつ ぎようき
薩像一体(座像木仏、高さ六寸、行基
ぼさつ
菩薩作)です。

特に行基菩薩が自ら彫られた准胝
観世音菩薩像は、この地に長い間祀ら
れてきた大切なものです。観音さまの歴
史が、このお寺の歴史であり、多くの
方々がご縁を結びました。これからも大
切にお守りさせて頂き、今後も多くの方
にご縁を結んで頂ければ幸いです。

Q3 お坊さんとしての
心がけは？

私の僧侶としての心がけは、「初心
忘るべからず」です。

ほうとう
昨年当院の法灯を継ぎ、住職となり
ました。住職となりましたが、心は常に
こぞう
「小僧」でありたいと思います。

人間は誰しも慣れが生じると、驕り高
ぶり、思い上がった態度をとりがちです。
だから、「初心忘るべからず」と自らを戒
め、小僧のように、小僧のようにと自分
に言い聞かせております。

常にこの言葉を忘れることなく、努力
精進していきたいと思います。

Q4 「ちかい」読者に
何か頂けませんか？

朱印帳を5名の方に差し上げます。

【交通】

【電 車】 名鉄東幡豆駅より徒歩10分

【主な行事】

弘法さん 旧暦3月21日
盆施餓鬼会 8月1日

【お問い合わせ】

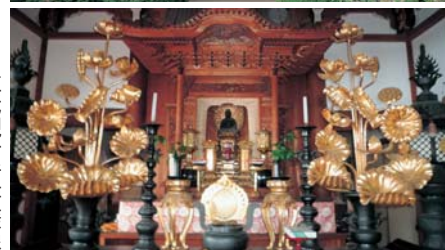
宝樹院
〒444-0701
愛知県西尾市東幡豆町西前田7
TEL 0563-62-4024



准胝観世音菩薩像



本堂



本尊